会報 101 号 2023 年 10 月 1 日

このたび、2023 年 9 月 9 日に、秋季大会と総会が大阪大学・豊中キャンパスにて、対面と配信のハイフレックス式で予定どおりに行われました。15 本の研究発表とシンポジウム「パスカル生誕 400 年に寄せて」が滞りなく行われ、充実した研究交流の時間をもつことができました。会員のみなさまのご協力に感謝いたします。今回は 4 年ぶりに懇親会も開催され、大阪大学会館の素敵なアセンブリーホールにて 40 名ほどで歓談することができました。運営していただいた山上浩嗣先生、安西なつめ先生には感謝いたします。

総会での審議・報告事項について

1）2022 年度決算、2023 年度予算について、下記（別紙資料）のように総会で承認されました。

2）2022 年度事業報告がなされ、2023 年度事業計画が示されて、下記（別紙資料）のように承認されました。すでに行われた事業については、日仏哲学会 HP の方をご覧下さい。

3）会費滞納に関して、会則第 9 条の変更が承認されました。自動退会に関する変更で、会費の滞納が会計年度 5 年を超えた会員については会員資格が失効します。

4）会則第 8 条の変更が承認され、研究機関誌編集委員会において、副編集委員長 1 名を置くことが記されました。

5）機関誌について、第 28 号が刊行されることが編集委員長から報告されました。前 27 号から電子化されており、J-Stage と学会公式 HP で 10 月に公開されます。紙版の印刷はごく少部数にとどめ、頒価は当面のあいだ 3000 円です。次回の 29 号以降、公募論文については二重匿名査読性を採用します。詳細は、下記の応募規程をご確認下さい。第 29 号以降、表紙の変更を予定しています。

6）2023 年 3 月 19 日より施行の編集委員会規程が紹介されました。

7）2022 年度（第 10 回）日仏哲学会若手研究者奨励賞が、濱田明日郎氏（論文「中後期ベルクソンにおける「創造」概念の追跡（1907-1914）――『道徳と宗教の二源泉』に至るベルクソニスムの心理学的解釈の試み」）に授与され、表彰式が行われました。

機関誌への投稿について

機関誌『フランス思想・哲学研究』次号に公募論文を応募される方は、本年 12 月 31 日（JST）までに、下記応募規程中の編集委員長の e-mail アドレス宛に完成原稿をお送り下さい。（投稿規程は学会公式 HP

からもご覧いただけます。）

『フランス哲学・思想研究』公募論文応募規程

１）テーマ：フランス哲学・思想に関するもの、日仏両哲学界の交流に寄与するもの

２）応募資格:日仏哲学会会員（ただし機関誌最新号に公募論文が掲載された者は次号には応募できない。また、投稿時の会計年度を含めた会費を納入済みであること。）

３）応募原稿の形式：完全原稿の電子ファイル（Microsoft Word 2013 以降のバージョンで作成したもの、それ以外の場合は要相談）。論文は、和文・仏文を問わず、１行全角 43 字（半角 86 字）かつ 1 頁 36 行の設定で横書きし、タイトル、注、図表、空白の行を含めて 369 行以内に収めること。注は、本文の該当箇所に通し番号 1)、2)、.....をつけ、脚注ではなく文末脚注として本文の後に置くこと。和文・仏文いずれの場合も仏語レジュメ（上記設定でタイトルを含め 11 行以内）を本文以降に、ページを改めて付すこと。氏名、住所、電話番号、E-mail アドレス、生年月日（若手研究者奨励賞対象者確認のため）、これまでの制度上の指導教員名、さらに日本学術振興会の特別研究員の場合は受入研究者名を記した応募者情報を、別紙の PDF として添付すること。

４）原稿作成上の注意：欧文のハイフンは本来のものだけとし、改行時には入れないこと。仏語レジュメは、ネイティブ・チェックを受けるなど、著者が責任をもって点検を済ませておくこと。論文と仏語レジュメには、氏名と所属、ならびに関係者/団体への謝辞をいっさい記載しないこと。自著を参照する場合も、著者名や三人称を用いて他の文献と同様の形式で参照し、自著であることを仄めかすような記述を避けること。

５）応募期間：当該年度の 12 月 1 日～31 日（JST）。件名を「フランス哲学思想研究公募論文」とした電子メールに電子ファイル 2 点（本文＋仏語レジュメ、応募者情報）を添付し、編集委員長宛に送付すること。仏語レジュメを含む論文のファイル名は「日仏_査読論文レジュメ_論文タイトル」とし、応募情報のファイル名は「日仏_応募情報_姓名」とすること。

６）原稿送付先：津崎良典 tsuzaki.yoshinori.gn(at)u.tsukuba.ac.jp

※ご連絡の際は(at)の部分を＠に置き換えて下さい。

７）審査：掲載の可否は、二重匿名査読ののち、編集委員会で審議・決定し、理事会における承認を経て通知する。

８）掲載決定の場合、応募者は編集委員長によって指示された期日までに、掲載用原稿（本文・仏語レジュメ）の電子ファイル（Microsoft Word 2013 以降のバージョンで作成したもの、それ以外の場合は要相談）を電子メールに添付して編集委員長宛に提出すること。なお、本文は、タイトル、注、図表、空白の行だけでなく、査読のために除去した氏名、自著についての情報、また、謝辞なども含めて 370 行以内に収まるように修正すること。仏語レジュメは、査読のために除去した氏名を含めて 12 行以内に収まるように修正すること。

書評対象作の推薦について

編集委員会では『フランス哲学・思想研究』掲載の「書評対象作選定の基準」を次のように定めています。

・書評対象として、会費納付済み会員が前年度出版した著作を可能なかぎり取り上げる。

・書評対象作は編集委員会で決定する。
・書評対象として、前年度 1 年間に発行された著作を取り上げるが、それ以前の著作でも漏れていたものを取り上げることは可とする。
・会員によるものであっても翻訳書は原則対象外とする。
・書評対象作のリストアップのため、会員よりの自薦・他薦を受け付ける。（自薦の場合は、 著書を編集委員長宛に送付することが望ましい。）

これに伴い、書評対象作の推薦を受け付けます。推薦締切は 2024 年 1 月 15 日（JST）です。編集委員長まで電子メール（アドレスは公募論文応募規程を参照）でご連絡下さい。

2024 年春季・秋季大会への一般研究発表の応募について

2024 年春季大会は 3 月 23 日（土）に東京大学駒場キャンパスにて開催される予定です。

発表希望者は 2023 年 12 月 31 日（JST）までに、発表要旨（日本語の場合は 1200 字以内、フランス語の場合は 300mots 以内）を学会公式 HP の応募フォームにて記入して下さい。発表時間は 25 分で、15 分の質疑応答付きです。採否は 2024 年 1 月末日までに決定いたします。

なお、2024 年秋季大会は東京都立大学（南大沢）にて、9 月 7 日（土）-8 日（日）に開催される予定です。学会設立 50 周年の記念大会です。応募締切は、2024 年 6 月 30 日（JST）です。

会員の皆様へのお願い

１）会費納入のお願い

本学会の財政状況は安泰とは言えない状況が続いています。機関誌電子化によって、支出を抑える努力はいたしておりますが、基本的に会員からの会費納入によって本学会の運営は成立しています。つきましては、会員の皆様には遅滞なく年会費（4000 円）を納入して下さいますよう、改めてお願い申し上げます（末尾に記載の学会郵便振替口座から常時お振込みいただけます）。当学会の会計年度は 9 月開始ですので、その点もご承知おき下さい。

２）メールアドレスご登録のお願い

機関誌電子化にともない、「会報」はすべて電子メールで配布しております。会報は学会公式 HP でも随時閲覧可能です。まだメールアドレスを登録していない方は、下記事務局までご一報下さい。

【日仏哲学会事務局】
〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1
東京都立大学 人文科学研究科 西山雄二研究室内
メール：secretariat.sfjp@gmail.com
郵便振替口座記号番号：00120-6-194046 / 加入者名：日仏哲学会